

令和 8 年度第 1 次 一般選抜入学試験問題

(新潟県立大学大学院 健康栄養学研究科健康栄養学専攻)

専門試験

注意事項

1. 試験時間は、午前 9 時 30 分から 10 時 30 分までである。
2. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
3. この試験は、問題冊子（2 ページ）、解答用紙 1 枚及び下書用紙 1 枚を配布する。
4. 8 題の中から 1 題のみを選択して解答すること。2 題以上に解答した場合は、解答をすべて無効とする。
5. 試験開始の合図があつてから、解答用紙に受験番号と、解答する問題番号を所定の欄に記入すること（氏名の記入は不要）。
6. 解答は、解答用紙の所定の欄に記入すること。
7. 問題冊子にページの欠落や印刷不鮮明な部分等がある場合は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
8. 原則として、試験時間中の途中退室は認めない。
ただし、具合が悪くなった場合、トイレに行きたくなった場合等は、手をあげて、試験監督者がそばに来てからその旨申し出ること。
9. 試験終了の合図があつたら直ちに筆記用具を置くとともに、机の上に問題冊子と下書用紙を重ねて置き、その上に表にした解答用紙を重ねておくこと。
10. 試験監督者の許可があるまで退室しないこと。

次の(1)～(8)の中から1題を選び、解答用紙の所定欄に選択した問題番号を記入のうえ、解答欄に解答を記入しなさい。

(1) 応用栄養学

日本人の食事摂取基準が定められる根拠となる法律は何か、そして誰が定めるか記してください。また、日本人の食事摂取基準の策定の目的を述べたうえで、「日本人の食事摂取基準（2025年版）」が踏まえている健康・栄養政策について記述してください。

(2) 栄養教育論

減量したいと考えている人に対する「ソーシャルサポート」として適切な内容を、①管理栄養士など専門家、②家族・友人など身近な周囲、それぞれの観点から、「サポートの種類」を踏まえて記述してください。

(3) 給食経営管理論

給食施設における生産システムで、アッセンブリーサーブシステムとはどのようなシステムか、クックサーブシステムとの違いを比較しながら記述してください。

(4) 食品学

機能性を表示できる食品（保健機能食品）を3種類に分類し、それぞれの特徴について説明してください。

(5) 基礎栄養学

プロバイオティクスとプレバイオティクスについて記述してください。また、それぞれを含む食品とその有効成分について例を挙げ、それらを摂取することによって健康に対してどのような効果が期待されるかを記述してください。

(6) 公衆栄養学

日本人の野菜摂取量が増加しない要因（課題）について記載し、野菜摂取量を増加させるためにどのような政策が必要か、その理由とともに記載してください。

(7) 公衆衛生

日本人の働く世代の健康問題をあげ、その背景と対策について個人、企業、国の各レベル別に記載してください。

(8) 公衆衛生学

生活習慣病予防対策におけるハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの概要について、利点や課題も含めて記述してください。さらに、わが国では各アプローチを用いた保健事業としてどのような取り組みが行われているか、特に食と関連した健康課題とその対策に焦点をあてて具体的に記述してください。